

鬼怒商業の男子生徒2人が看護師体験

鬼怒商業高校の2年生2人が、8月8日から10日の3日間、城西病院で看護師の仕事の一端を体験しました。この体験は、仕事を通して職業観を培い、進路選択の参考にしようといわれています。

城西病院を訪れたのは小口元暉君と瀬辺隼太郎君。2人は、初日のオリエンテーションのあと、病院内を見学。応急処置室や臨床検査室、手術室、健診センター、CT検査室、MRI検査室などを見て回り、担当の専門職員から説明を受けました。

その後2人は、外科系病棟と内科系病棟で、看護師体験をしました。

体験は、車いすの介助や車いすの操作体験、血圧計や血糖値測定、病院食の試食なども行いました。看護師とともにベッドメイキングをしたり、患者さんの看護に必要なことを教えてもらったり、食事の配膳なども手伝いました。また、血管カテーテル室や手術室を見学した2人は、ベッドに寝てみたり、放射線防護服を着るなどの体

験もしました。

2人は「とても忙しいけど、みんな楽しく働いていた」と話し、小口君は「病院のふだん見れないこと、分からないことを見たり聞いたりして貴重な体験になりました」、瀬辺君は「人の命を救う姿は立派。将来の進路に医療の分野も考えたい」と3日を振り返っていました。

平成 28 年
8 月 10 日

